

思ひがけられておよぐ者は、まさに世であつた。

この頃卒が本校にとりつけられるには、面白い話がある。すなわち、校長先生が、先のお友達の、私の前には顔が赤いから、私のためにとりつけてくれなにかと尋ねる言われた。するとお友達の方は、「No, I do not do it for you, but I do it for the boys of your school」と言われた。さすがいつも僕達生徒に、えらそうな事を言つてお山猪も、まつか交差を言つてお茶くしたのである。このように、お友達の前には深い意味があるのである。

野球試合

去る五月十八日(水曜日)、生徒対先生で野球試合を行つた。そのスコアは、

情い心

三週間前、三日間に亘つてシコルテ先生から三年生だけに性についての特別講義があつた。その要旨は「吾輩が今後おぼたのかるであろう精神の難問の一つは確かに性の問題である。しかしこの難問に對しては、おぼたのかる、吾輩は突破するためである。その困難の道に於て完全な知識と正しい行をもつて心を絶体に通く保つて行くべきである。

此の清さは人の一生の成否の鍵であるから乱れ世の中にあつて少くとも普通栄光光中學生だけは心を清く保つて下さい。ボーイスカウトの礎の一つにもある様に、心身共に清かさを保つて置くことは非常に大切で

ある。この板の意味を解さない人、自ら求めて清い生活をしようとしなない人はどんなに汚い人であろう。

吾輩は自己の意志を強くし、神の語の心に刻み込まう。法律に従つて生活してこそ、始めて眞の人間、男性的人格者になることが出来る。そしていつも鋼鉄の如く固き意志と、谷川の清水のように清くすみきつた心をもつて生活していつて下さい。とおつしやられた。

バレーボール

六月一、二、三日の間、本校始つて以来初の校内バレーボールトーナメントが行われた。総合的批評として概ね良好であつたが、や、もすると勝敗にこだわらざるが如き風に見えた。事は少々遺憾に感えない。

今年の夏祭り

七月が近づいて、そろそろ夏祭りの足音がして来たので、夏祭りの準備を切らさう。

去年の夏祭りには多くの楽しんでいただけました。前へは、前中や大向パイプオルガン等である。その日には日傘を下げた父兄の方々が先生、生徒も口を殺せる程大笑いして、おぼたの子供も賑やかな笑ひを出してしまつた程だつた。しかしこの様な條件は、おぼたの子供等に与つて、すべて主従の力によるのである。去年の夏祭りでは、おぼたの子供等に与つて、すべて主従の力によるのである。

記録、本連統本塁打 3A 一試合、三本塁打、三回得点。コールドゲーム、安打 34、28、30。この試合で三年は集に試合して

記録、本連統本塁打 3A 一試合、三本塁打、三回得点。コールドゲーム、安打 34、28、30。この試合で三年は集に試合して

この日の試合に二年は、何れ先生と共にがんばつた。しかし、おぼたのうまいホーム・スチールが、邪の勝因となつてしまつた。第二日(六月一日)第一試合、3A 対 2A、スコアは 3A 0 6 0 2 1 1 0

この日の試合に二年は、何れ先生と共にがんばつた。しかし、おぼたのうまいホーム・スチールが、邪の勝因となつてしまつた。第二日(六月一日)第一試合、3A 対 2A、スコアは 3A 0 6 0 2 1 1 0

この日の試合に二年は、何れ先生と共にがんばつた。しかし、おぼたのうまいホーム・スチールが、邪の勝因となつてしまつた。第二日(六月一日)第一試合、3A 対 2A、スコアは 3A 0 6 0 2 1 1 0